

授業科目名称 : 認知症の理解 I

授業コード : 32022

授業科目英文名称 : Dementia I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
大町いづみ（実務経験のある教員）、※藤本武士（実務経験のある教員）、※福田康恵（実務経験のある教員）			
展開方法	講義		
ナンバリング	DA111		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	福祉職として必要な認知症の知識を身につける。認知症のケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境について理解することができる。	筆記試験 授業態度・取組	60% 10%
情報収集、分析力	認知症の人の生活及び家族や社会との関わりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえたアセスメントを行うことができる。	レポート課題	15%
コミュニケーション力	認知症の病態を理解し、利用者を安心・安全・安楽にできるコミュニケーション能力を修得することができる。	レポート課題	5%
協働・課題解決力	認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、多職種連携・協働による支援の基礎的な知識を理解することができる。周辺症状・中枢症状を理解し自分の考えを整理することができる。	レポート課題	10%
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識を修得する。 認知症の医学的・心理的側面を理解するとともに、認知症の原因となる疾病及び段階に応じた心身の変化や心理症状を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解する内容とする。 認知症の人の生活および家族や社会との関わりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえた認知症ケアの実践につながる内容とする。				
アクティブラーニングの類型	①⑨⑩				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験の成績を60%とし筆記試験（持ち込み不可）を行う。「レポート課題」（30%）は、随時授業中に課した課題を評価する。「授業態度・取組」（10%）は、授業に対する態度、熱意などを評価する。各教員が100点で評価し、授業回数で配分して最終評価を出す。なお、レポート課題に関しては、ポートフォリオや授業内でフィードバックを行う。				
授業概要	医療現場で認知症の患者の診療にあたる医師、認知症看護認定看護師、看護業務と相談業務の経験をもつ教員が担当し、グループワーク等を交えながら現場実践を活かした学修を行う。認知症に関する基礎知識を学ぶ。認知症の医学的な病態、診断、最新の治療法から、認知症の原因となる病気や症状の特徴について学ぶ。認知症の人の現状や今後の推移、施策等とともに認知症ケアの変遷についても学んでいく。前半No.1～10の10コマを藤本・福田、No.11～15の5コマを大町が担当する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。				
教科書・参考書・指定図書	教科書：介護福祉士養成講座編集委員会編（2022） 最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規 参考書：適宜紹介する 指定図書：介護福祉士養成講座編集委員会編（2022） 最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規				
授業外における学修及び学生に期待すること	認知症の人への対応やケアは、認知症の増悪、症状の改善に影響する。そのためにも、認知症を正しく理解し、その症状や行動について、認知症の人主体に考えていって欲しい。注意点：講義中の私語、携帯電話の使用は禁止とし他者に迷惑をかけないこと。また欠席の場合は事前連絡を行うこと。				
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	担当教員
	1	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解①	認知症とは何か、認知症の概念について学ぶ。	認知症の概念の復習。 次回テーマの予習。	大町
	2	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解②	認知症と間違えられやすい症状として、健忘、うつ病やせん妄について学ぶ。	健忘、うつ病、せん妄の復習。 認知症の診断の予習。	大町
	3	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解③	認知症の診断について学ぶ。	認知症の診断の復習。 主な疾患の予習。	※藤本

4	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解④	認知症の原因となる主な病気として、アルツハイマー病、脳血管性疾患について、その症状の特徴を学ぶ。	認知症の原因疾患の復習。 その他の主な疾患の予習。	※藤本
5	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑤	認知症の原因となる主な病気として、レビー小体病、ピック病、その他の疾患とその症状の特徴について学ぶ。	認知症の原因疾患の復習。 次回テーマの予習。	※藤本
6	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑥	認知症の行動・心理症状の治療として、身体疾患の検討に関して学ぶ。	認知症の行動・心理症状の復習。 次回テーマの予習。	※藤本
7	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑦	認知症の行動・心理症状の治療として、向精神薬療法について学ぶ。	向精神療法の復習。 次回テーマの予習。	※藤本
8	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑧	認知症の評価スケールについて学ぶ。	評価スケールの復習。 認知症の予防の予習。	※藤本
9	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑨	認知症の予防としての生活習慣病の早期治療について学ぶ。	生活習慣病の早期治療の復習。 認知症の予防の予習。	※福田
10	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解⑩	認知症の予防として、運動、生活の改善について学ぶ。	認知症の予防についての復習。次回テーマの予習。	※福田
11	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア①	認知機能の変化が、本人の生活にどのような影響を及ぼすのかを学ぶ。	予習：教科書（指定頁）を読んでおく。 復習：認知症の生活への影響について整理する。	※福田
12	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア②	認知症の症状と環境との関係を学ぶ。	予習：認知症の基本症状を調べる。 復習：認知症の基本症状を整理する。	大町
13	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア③	認知症になってもこれまでの生活を続けるために必要な事柄を学ぶ。	予習：認知症の事例を調べる。 復習：事例を整理する。	大町
14	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア④	認知症による急激な環境の変化を和らげる支援を学ぶ。ユマニチュード、パーソンセンタードケアを学ぶ。	予習：ユマニチュード・パーソンセンタードケアについて調べる。 復習：ケア内容について整理する。	大町
15	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア⑤	認知症の人の生活および家族や社会との関わりへの影響について学ぶ。 定期試験の説明を行う。	予習：教科書（指定頁）を読んでおく。 復習：定期試験に備える。	大町
16	定期試験			